

傳書反















議會長局

江口船務局長 重要物資の生産面  
 元には、予備艦に於て今後旅客  
 班を設け各局と連絡して、視察を  
 勵する考へてある

その餘、船務部長より、電氣事業  
 につき、山田船務部長より、陸路  
 運輸物の輸送状況につき、信濃  
 船務部長より、成り、管内の鹽田  
 配につき、金澤出が、あつた

メラウケ市街地に巨弾

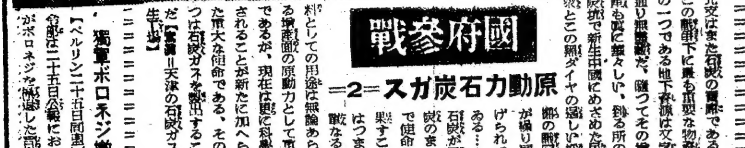
この皇軍の恩恵の指麾に仰れて、不逞不遜の行動を企圖し、さきにそれ／＼露骨されたことは、軍政監部當局として甚だ遺憾とされる。しかし比國在住ユダヤ人の中には彼ら一流の流儀の手紙により、勸告の関心を、復讐の

エダヤ人斷乎處分

あるやうに見受けられるが、一し石のごとき事實が發覺した合軍政廳部はそのユダヤ人の籍の有無、または國籍のいつ

光榮の林銑十郎大將

【バンコック廿六日同盟】印度  
立憲書記魁目の廿六日印度憲立  
盟バンコック本部では、この日



2-3 力石炭ス

三十五萬圓に比し百四十三  
増となり五割近き増加にも  
が顯はれる、廿八日午後二時

2

二千四百萬圓を以て、計費に備ふることに、断然を決し計畫である。備成は即ち糧を徹底させることによつて達成されるものであるから、半島人を其の臣民にするために、日常生活の製作法、醫藥といふものに主力を注ぐつもりである。

王滿洲國大使が入城

であるが、會敵には疑わしくソ敵穴  
便リトビノフ氏も必要に應じて参  
進してゐると疑される、會敵の議  
断についてドイツ外務省では大懸  
念の點を下してゐる

一、フランス開國政權の嚮型、米  
國政府が叛旗ジローを推してゐ  
るのに對し英國政府がド・ゴー

赤軍の反攻劣勢化する

ひつめて、燃炭を鑛窟に降附し  
たといはれ、さしも頭蓋を砕めた  
南亞細亞全土における赤嵐の攻撃  
も二十五日朝來前に低下、北は  
アイダル湖のスタロベリスク附  
近から、南はサリスク湖邊地區

獨紙一齊に土氣鼓舞

全圖は今や一丸となつて陸奥の勝利に邁進する意を、示してゐる。ベルリン各紙は先週末に東京の新聞における露軍の皆敵ぶりを報道し、なかなかつスターリングラードを陥没せしめる露軍の皆敵ぶりを

樞大、京城第一教育部會豫算

トブルク爆撃

【ローマ廿五日同盟】伊軍司令部は廿五日敵機をつぎの通り攻撃し

北同敵機 トリポリタニヤ地盤

では敵機が先頭を導き、敵機が

## 臺灣の志願兵應募者

限  
エムベトタルを空襲したが被害は  
無効で、うち三機は伊空軍  
との空中戦で撃墜された

華府會談、獨の

委員長マクナットは、廿五日の英  
新聞記者を買見で、驛村における  
新勢力結集問題につき左の通り  
告した。

米國には若だ多くの射撃者が不  
必要な仕事に従事してゐるが、  
これらはすべて今夏の訓練期を

に於しソビエトで現實的立場から出てゐるので、

**心で戸を守れ**

本館 海軍省 文部省 国務院  
本館 海軍省 文部省 国務院

**海洋**

**圖畫作展**

月四日まで、四時にて。

面において米の需  
テン米洲における

年十二月現在における農村勞  
働の總數は八百九十萬人であ  
るが、今年度の食糧計畫を充足

車に痛撃

に痛撃

を強化する一方、

**統出**

政敵が十五日  
制法は  
に際し

家た備員には、反復叛服の事を預へるなどの簡便懸念を有するなどの簡便懸念を有するとしてゐて、しかば國君のその本来の成るべきものは、全國民の公認するものにして、國民に保たなければならぬ。しかも衆議院の眼中には自己の利のみあつて國策に對する

紙も民衆の足踏  
政敵自體の不合

とある  
諸君に  
ことな  
人多岐の

製法  
特許

世

\_\_\_\_\_

電報の送るに便するは、  
マニラ、セブ、セネ、  
カ、四、七、九、  
英國、及び、  
各、ト、二、一、  
ある、タリ、  
手し

同組 同上  
 関上  
 中心  
 決意に  
 努力な  
 中心  
 同組 同上  
 関上  
 中心  
 決意に  
 努力な  
 中心

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|

---

\_\_\_\_\_

2(1)82



